

017 早稲田大学理工学部

東京都 建築設計——建築学教室・臨時建設局（安東勝男・他）

鉄筋コンクリート造，1963 年

52, 53, 54 号館は，横力をすべて間仕切壁が負担している。床梁は変断面（外側へいくほど梁成が減少するもの）の格子梁である。

57 号館は大教室である。屋根は HP シェルで，そのリブは

辺に平行にせん断力が起こるが，これと 45° では圧縮と引張りである。したがって前者は上に反ったアーチで，後者は下に反った吊り材の曲線の梁である。

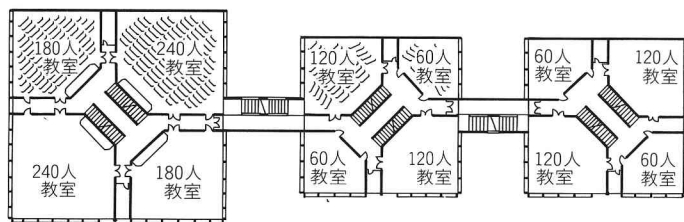


左：南側普通教室棟 手前より 54, 53, 52 号館。

右頁上：240 人教室 (52 号館)

右頁下：普通教室棟 2 階平面

撮影：川澄明男



左：大教室平面
 右：大教室内部
 下：7号館 1階が製図室，
 3階が大教室（450人）収容。
 撮影：川澄明男

